



(上) 煙道を抜け要救助者を抱え安全に搬送。
(右) ロープを握る手と歯にグッと力を込めます。



6/27
MON

1分1秒を争う

消防本部

救助技術の向上を目指して行われる「消防救助技術指導会」。中国大会へ進む代表を決める署内選考会が行われました。3人1組で行う『ほくく救出』は、長さ8mの狭い煙道内をくぐり抜け、要救助者を安全地点まで搬送するというもの。スタートの合図とともに猛ダッシュ。空気呼吸器を素早く装着し、煙道に飛び込みます。練習ではうまくいくものの、本番では緊張してロープを結ぶのに手間取ってしまったと反省の弁も。続いているのは15mの高さを自力で登る『ロープ応用登はん』。登はん者と補助者が息を合わせ、到達地点までのスピードを競います。市民の安全を守るため、鍛錬を続けるレスキュー隊です。

守りたい！子どもの安全

アゼリアホール

『“青少年の非行・被害防止”ならびに“社会を明るくする運動”全国協調月間』に『市民のつどい』が開催され、約150人が参加。更生保護女性会が手話を交えて歌う『ひまわりの譜』で幕を開けました。『守りたい！子どもの安全』と題した講演では、講師の岡真裕美さんが、子どもたちの行動の特徴や、大人がすべきことなどを実際の経験や事例などをもとに話しました。「軽傷で済むか、重大事故につながるかは確率の問題。事故は誰にでも起こり得るんです」と実際に夫を亡くした経験から来場者に強く語りかけます。最後は、浜本七摘さん(玖波中2)、河野勇大くん(小方中3)、齋池愛実さん(大竹中3)の意見発表が行われ、ふるさとの良さや、地域交流の大切さを訴えました。

7/2
SAT



(上) 更生保護女性会の歌声が会場に響きます。(右) チャイルドビジョンを付けて、子どもの視野の狭さを体験。(左) 意見発表をした中学生。右から浜本さん、河野くん、齋池さん。



「おひざにだっこのおはなし会」の様子



「ぬいぐるみおはなし会」
褒めつけの様子



三井化学株式会社大竹工場から本を寄贈していただきました、ありがとうございました。

YouTube大竹市
図書館チャンネル



8月 (AUG)

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

■白字は図書館の休館日です。○はおはなし会の日です。

イベント紹介

おはなしきかせて〜ストーリーテリングのおはなし会
 とき8月25日(木)11時〜▼ところ 図書館2階ギャラリー1▼対象 幼児・小学生、大人
 ▼語り手にいろいろのたねのみなさん▼定員 15人、大人10人程度

おひざにだっこのおはなし会
 とき8月12日(金)10時30分〜▼ところ 図書館2階ギャラリー1▼対象 1歳から▼定員 5組程度

親子で楽しむおはなし会
 とき8月12日(金)11時〜▼ところ 図書館2階ギャラリー1▼対象 小学生以上、保護者▼定員 15人程度

※各イベントは事前申し込みが必要で
 す。イベントは中止・延期になる場合
 があります。

展示コーナー
 一般向き ホラー怖いでしょ…
 児童向き うみはひろいなおおきいな
 時事コーナー 終活を考える



市立図書館ホームページ
 携帯アドレス
<http://www.tosho.otake.hiroshima.jp/mobile>
 問い合わせ ☎52-5338 ☎52-8005

新刊案内

こども本の おとなの本

「桃太郎は嫁探しに行ったのか？」
 倉持 よつば／著 (新日本出版社)

「もう行かなくてはい」
 イーユン・リー／著 篠森 ゆりこ／訳 (河出書房新社)

「戦争が町にやってくる」
 ロマナ・ロマニーシン／作 アンドリー・レシヴ／作 金原 瑞人／訳 (プロンズ新社)

「恋愛問題は止まらない」
 吉野 万理子／作 (小学館)

「孤剣の涯へ」
 木下 昌輝／著 (文藝春秋)

「学校では教えてくれない 超ディープな数学の教科書」
 難波 博之／著 (S Bクリエイティブ)

●新型コロナウイルス感染拡大防止のため、掲載している催しなどは中止、または延期になる場合があります。



(上) ABEATクラブのかわいいダンス。
(下) マンゴーのかき氷。大きく口を開けてパクリ。

7/3
SUN



(右) コロナ禍でなかなか着る機会がなかった浴衣。うれしそうに佐藤由菜ちゃん(3歳油見)。(左) ご自慢の作品を前に「あみみクラブ」の皆さん。

カメラスケッチ



PART2

マルシェで元気に

アゼリアおおたけ

コロナ禍を元気に乗り越えよう
 と「おおたけdeマルシェ」が昨年に引き続き、催されました。アゼリアホール内には、雑貨の販売や似顔絵コーナーなどのブースが設けられ、企画者の広美裕子さん(御園)は、「昨年を上回る来場者」と喜びの声。月1回サントピア大竹に集まり、手芸を楽しんでいる「あみみクラブ」の皆さんも、お手製の作品を持ち寄っての出店。こういう場で皆さんに見てもらえるだけでもうれしい」と接客も楽しそうです。ステージでは、演奏やダンスなどのパフォーマンス、外にはフードコートも設けられ、活気あふれるイベントでした。